

# ボランティ

# 第 97 号



# 情報すいた

編集・発行

吹田市社会福祉協議会 ボランティアセンター  
吹田市 ボランティア連絡会  
〒564-0072 吹田市出口町19番2号  
市立総合福祉会館内  
電話 (06) 6339-1210



町並みと  
話に夢中  
ついつい列は  
広がります



「あっ、素敵！」  
足元にも  
小さな発見♪



案内人の説明に  
深まる興味



食後は楽しい  
指体操  
みんな笑顔で  
お疲れさま

天候に恵まれ、ボランティア連絡会27団体のうち17団体48名が4班に分かれ、町案内人と一緒に阪急吹田駅を出発しました。  
昨年は旧山田村を、今年も旧吹田村を散策です。  
泉殿宮には、立柱祭の元柱

があり、万国博覧会の会場建設の地鎮祭で使用されたものだといいました。境内では菊花展も開催され、大輪の菊の花も目を楽しませてくれました。  
宮を後にして、常光円満寺に到着。案内人より濱の堂をぐるっと回ればミニ西国33番札所を回ると同じご利益が

あるとの説明を受け、観世音菩薩を数えながらお参り。  
旧家が立ち並ぶ通りでは、茅葺の屋根を見ついたり、昔の名残が残る町名を見つけて「わあ〜」つという歓声が。  
会話とともに歩みも進み、大きな椋の木がある大の木神社やきつねが入りしていたといわれる小女郎稲荷へ。



南町道標の右に行けば京都・茨木・高槻、左に行けば中山・池田・伊丹と記された文字を見て、昔の人も歩いてきた道に思いを馳せ、遠くを見つめていました。

最終地点の浜屋敷に着き、現役で祭りに使用されている山車を見学後、いよいよお待ちかねの昼食に。

美味しい食事もさることながら、初めて参加したコミュニケーションサーロンも活動紹介をし、プルトップがドラム缶9本分に達し、車いすが1台いただけると報告がされると会場からは拍手が沸きました。

食後のコーヒーとともに指体操。うまくできていてもできなくても皆さん笑顔です。

参加された方からこのような声が聞けました。

「皆さんと楽しく歩かせていただきました。次回が楽しみです。」  
「吹田に長く住んでいますが、知らないところがたくさんありました。」  
「いろいろな方との出会いが楽しかったです。」

来年も楽しい、参加者の多い研修ができますように……

(宮田光代)



「第29回よつといで祭」が、9月18日(日)に南千里公園で盛大に行われました。

この祭は、野外舞台でのパフォーマンスや多くの市民グループ、ボランティアアグループの出店があり大変にぎやかなイベントでした。

この祭に、ボランティア連絡会から心ふれあいSA吹田とエコおもちゃ作り市民塾が合同でおもちゃ作りに参加しました。3帳のテントに40名のメンバーが、20種類約3,000個のおもちゃを作り、多くの子どもたちやご家族の皆さんに大変喜んでいただきました。(小川忠夫)



「よつといで祭チャリティーバザー」にてボランティア連絡会他22名のボランティア(吹田市ボランティアフェスティバル実行委員会)が物品販売のお手伝いをしました。5月開催のVフェスで予定していた東日本大震災復興支援バザーが台風で中止に



なったため、多くの方から頂いた善意を、ぜひ被災者の方々に届けたいとのVフェス実行委員会の思いと、よつといで実行委員会の賛同と無償でのご協力を頂いて実現したものです。

雨後で足下の悪いなか、午前10時開始にもかかわらず9時過ぎには人が並び始め、日用品から次々と売れ、午後2時頃にはほぼ完売しました。総合計139,146円の義援金を、全額共同募金、日本赤十字社にVフェス実行委員会から寄付されました。

引き続き東日本、和歌山・奈良大洪水の被災者の支援を何か出来るとうれいですね。(矢上敬子)

## 第31回吹田市身体障がい者体育祭に参加して

10月2日(日)

会場の北千里体育館の前は車イスやガイドヘルパーさんに付き添われた人達がマイクロバスから降りて、中に入ると観客席は満席状態。天井は高く「身体障がい者体育祭」の垂れ幕が掛かっている広い体育館でした。

プログラムを貰い、各担当

の持ち場に分かれミーティング。こと細かく書かれた手順や、競技に使う道具類の数など細部にまで気を配った完璧なプログラム。開会宣言、市長・来賓の挨拶が終わり競技開始。ぬいぐるみを着た人達がルールに沿って競技を見せ

てくれ会場を盛り上げます。満面の笑みで玉入れをしていた女の子、ボールが的の輪の中に入らず悔しそうにしていた男の人。車イスの参加者には高さを変えるなどケースバイケースで対応。頑張れの大声援に、みんな一生懸命にプレイしていました。

準備段階から当日まで各団体のボランティア・職員の人ひとりの支えやチームワークの良さに、熱意を感じる事ができました。私自身元気を貰えて良かったと思い、心地よい疲れと後日少し筋肉痛が出ました。(加藤由美子)



おなじみ「出勤5分前」今年はおトラくんがお手本を



「紅白玉入れ」やっぱり盛り上がり一番!!

# グループ あめんぼ

吹田市立図書館の蔵書・依頼による図書の特集・対面朗読・留守家族児童室・高齢者デイサービス等での読み語り・紙芝居など幅広く活動されているグループです。

取材した日の活動は、特別養護老人ホーム寿楽荘へ出前によるボランティアでした。

あめんぼグループ4名の方が到着されると、すでに約20名の高齢者が待つておられました。ボランティアが各自分担当し、日本神話の国のはじまりを朗読、高齢者用に工夫されたジャンケン体操、歌では童謡。最後の紙芝居では『鬼の



劇さながらの紙芝居に引き込まれます

首引き」を登場人物になりきり演じられていました。

施設も家庭的で、次回も皆さん楽しみにされていることと思います。グループの先輩の方は「私たちのグループは、ボランティアをさせて頂いていることをモットーとしています」と言われていました。

(西川 宏)



## めりはり指導に123 歌体操介護予防市民塾

市民会館5階大集会室での研修会は、他市からの参加者もあり、16名が賑やかに会話をされておりました。

「手をたたくことは、手を刺激します」と、故郷“に合わせて準備体操が始まりました。指の開閉は血液の循環が良くなるので、グー・パーと



指体操で脳の活性化♪

つい力が入ります。

“津軽のじよっぱり”は楽し木を持ってポンポンとリズムにのり、“この世の花”は島倉千代子さんの物真似歌体操が大受け。転倒予防体操“お富さん”は体操前に思わず転びそうになるなど愛嬌も体操のうちかな？

千里市民センターで行なわれる研修会に向けての練習に白熱。会員の方から「加藤さんの、めりはりの効いた指導がなくてはならない、貴重な方です。皆、ついていっています」と話されていました。「失敗しても笑ったらいんです」と終始笑顔で、気配りを忘れない指導が印象的でした。

(中谷恵子)

## V連結成25周年ベストを新調

1枚 2,600円 販売中



ボランティアに求められるニーズに応え、一人でも多くの参加者を!!



## 新加入グループ紹介 笑楽の会

代表 西村征雄  
グループ紹介は、次号の「ボラ活ちょっと見て歩き」をお楽しみに!

## 永年の活動が実を結び、大きな花が咲きました。 受賞おめでとう ごさいます

- ◆厚生労働大臣表彰
- ・音訳グループ「とも」
- ◆大阪府知事表彰 (グループの部)
- ・グループ 「高齢者ふれあい デイサロン」

## 「存知ですか？」

## イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日のイオン・デパートにマックスバリュ江坂店・北千里サテイでお買い物をする黄色いレシートがもらえます。活動を応援したいボランティア団体の箱にレシートを入れると、レシート合計額の1%が団体に助成され、文房具などの必要な物品の買い物ができしくみです。

ボランティア連絡会もこのキャンペーンに参加し、コミュニケーションでのヒーや活動に必要な文房具を購入させていただきました。



ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました♡

直接活動しなくてもボランティア活動のお手伝いができる、ちょこっとボランティアです。ぜひ、ご協力ください。



# ボランティア連絡会 ボランティア講座を開催

10月24日(月)

講義形式ではなく、皆が顔を合わせた形で総勢33名の和やかなセミナーで、石井准教授をはじめ、明るく生き生きしていたのが印象的でした。

ボランティア活動の原点というやや深いテーマでしたが、難しく考えなく、ボランティアとは出来ることから自主的にやって、結果、社会的に貢献しあえばいいと気付く機会となりました。私の場合、養護老人ホームでの体験ボランティアに参加し、将棋のお相手をさせてもらったのが最初の活動でした。

次に、エコおもちゃ作り市民塾の小川忠夫さんからの「助成金の受け方」の講義があり、チャレンジすることが大事だと思いました。(塩谷和久)



# お知らせ

## ◆ボランティア連絡会交流会のお知らせ

平成24年1月31日(火)、メイシアターレセプションホールにてグループ紹介と活動発表の交流会を開催します。

## ◆ポスターデザイン募集中!

平成24年5月27日(日)に開催する「第14回吹田ボランティアフェスティバル」のポスターデザインを募集中です。最優秀賞にはボラフェス実行委員会より図書券をプレゼント!

### ◎応募規格

B3版の画用紙(イラストのみで文字は入れないでください)

### ◎応募方法

住所、氏名、年齢、電話番号を書いた用紙を添えて、吹田市社協へ持参、または郵送してください。締め切りは平成24年2月17日(金)消印有効です。



午後5時より街頭募金活動にV連絡会役員9名と応援者2名の計11名が揃いのハッピーを着て「赤い羽根の共同募金にご協力をお願いします」と大きな声で呼びかけました。今回は、17,196円の募金が集まりました。皆様のご協力から感謝いたします。



# 赤い羽根募金活動

10月17日(月)  
江坂駅付近にて

小・中学校での福祉教育で活躍する予定です。



さっそく試乗♡

この車イスは、緊急で必要になった方への貸し出しや、集めてくださる方の想いと車イスをもらうぞというボランティアの想いが重なり、嬉しい報告ができました。

11月22日のコミュニティーサロンで、車イスのお披露目と吹田市社協 立川会長よりサロンメンバーに感謝状の贈呈が行われました。

吹田市社協の善意銀行でいただいたプルトップの選別をコミュニティサロンで月2回行っています。選別作業は、プルトップの中に金属類、クリップなどの混合物も多いため、必要な作業となります。この活動は、平成21年12月から始まり、約2年でドラム缶9本分(約800kg)まで達し、この11月に環公害防止連絡協議会から車イスが1台いただけました。

# 想いが形になりました —車イスの寄贈—

# 編集後記

10月30日(日)、今年は大阪マラソンが開催されました。何ごとにもはじまりがありますが、いかに継続するかが問題だと思えます。「ボランティア情報すいた」も今回が第97号です。昭和63年11月25日創刊号より、来年平成24年9月15日発行で第100号になります。諸先輩方の努力により今まで継続することができました。第100号記念を発行するにあたり、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(編集長 西川 宏)

# コミュニティー・サロン

清拭布作りや切手・カード整理などをしてあります。

日時/毎月第2・4火曜日  
午後1時~3時

場所/線福2階ボランティア室

